

# — 第929回九大原子核セミナー —

講師：緒方 一介 氏 (大阪大学 RCNP)

演題：量子散乱理論への招待 見えない世界をどう描くか?

日時：2月23日(火) 13:30～14:30, 14:50～15:50

† 今回は通常と曜日が異なりますのでご注意ください

場所：理学部 物理学部門 物理 第2講義室

(ウエスト1号館2階 W1-B-212室)

## 概要

「量子力学は曖昧で、何ひとつ確定的な結論は下せない。」そう思い込んでしまっていないですか？もし本当にそうだとしたら、ミクロの世界を「研究・説明する」というのは、どのような意味なのでしょう？

この講義では、ミクロの世界とマクロの世界を繋ぐという観点から、散乱現象を記述する量子力学についてお話ししたいと思います。まず強調したいことは、曖昧なはずの量子力学が、加速器を用いて測定された実験データを正しく説明するという事です。その様子を実際に見ることによって、量子力学の“確かさ”を実感してもらうことが、この講義の最大の目的です。その上で、実験と理論が連携し、ミクロの世界の性質を解き明かしてきた研究の実例をいくつかご紹介したいと思います。

講義の後半では、今この瞬間も恒星内で起きている元素合成反応を地上でシミュレートする話や、大きな社会問題となっている核廃棄物処理を効率的に行う手法の模索についても触れる予定です。

連絡先: 九州大学 理学部 物理学教室 理論核物理研究室

TEL: 092-802-4101 (内線 8072)

渡邊 慎 (s-watanabe@phys.kyushu-u.ac.jp)

平成 28 年 2 月 1 日